

参加者レポート

「八百津町海外派遣事業」を終えて
株式会社イビサ

取締役会長 吉田 茂

「八百津町海外派遣事業」皆様大変お疲れ様でした。

今回のように大勢の八百津町の方々と8日間も一緒に過ごすことができたのは、八百津町を離れてから初めてでした。懐かしい言葉、温かみのある人柄に触れ、昔に戻った気分楽しく過ごすことができたのが、何よりも一番の思い出になりました。

初めて訪れたリトアニアは思っていた以上に澄んだ空気、美しい景色、親切な人柄であり、過去の歴史とは想像が付かないほどの穏やかな印象を受けました。大使館や市役所の方々にも厚い歓迎を受け、お互いの交流を深めることができましたし、八百津町の方々の炭坑節を始めとするアトラクションの準備には学ぶ点が多くありました。今後も交流を深めながら繰り返してはならない過去の歴史を次の世代へ、どう伝えていくかが今後の課題です。

「吉田茂国際交流基金」をリトアニア・欧州訪問団に役立てていただき、本当に有意義な時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。また、このような機会の皆様とお目にかかれまことを楽しみにしています。



カウナス市との交流会の様子(中央 吉田茂会長)



杉原ハウスにて(石井作一さん)

リトアニア・パリ訪問団研修レポート

石井 作一

「リトアニア、バルト三国、うーん旧ソ連。行ってみたい。」

そう思ったのは、今年の3月7日、我が前野自治会の年度末総会において、赤塚町長挨拶の中で、この行事の紹介があった時です。

そんな観光気分の甘っちょろい動機で申込み、多数の希望者がある中を参加させていただき、旧ナチスドイツのユダヤ人迫害政策の中、本国訓令を無視し多くの命を救った我が郷土の誇り、杉原千畝リトアニア領事館領事代理の足跡をたどる訪問団の一員として、その地を訪ねる機会をいただき、多くのことを学び、経験することができたことを感謝しております。

皆さんと一緒に訪れたカウナスでの第9要塞博物館、杉原記念館。

ビリニウスでは、スギハラ通り、そして杉原桜公園。どれも迫害の歴史、それを耐え忍び自由を勝ち得た人たちが過去を忘れないで、今ある自由をくれた人々に感謝し後世に語り伝えていく姿にとても感動しました。

第9要塞博物館で、私たちが杉原氏の故郷八百津からの訪問だと理解された時の管理人の感動した姿、杉原記念館での皆さんの温かい眼差し、スギハラ通り・杉原桜公園を案内する現地ガイドの熱っぽい口調、どれも一生懸命でした。

ただ、ユダヤ人というだけで虐殺・殺戮され、5万人をもの人々が葬られている丘をまるで散歩するように歩いた私。観光気分など吹っ飛んでしまいました。

明石リトアニア大使が、「どんな交流でも、続けて欲しい。続けることが大切です。また、外交は、民間交流が本当に大切です。」と言われました。

私たち訪問団も素晴らしい交流だと思いますが、これも言葉が話せ、通じたらもっと友好を深めることができるのに、私も、自分の孫たちに外国語を勉強しておきなさいと言います。皆さんもきっと同じことを感じられたと思います。

杉原領事代理は、博愛の精神で人道として多くのユダヤの人たちの命を救った。これを今も忘れない多くの人々に出会えた意義深い訪問でした。